

ひかりが丘町内会 高年部 講演会

平成27年5月23日

高年部開催の講演会は、世界遺産シリーズを終了して今年は「野口英世」を取り上げ町内会館で開催しました。講師を務めていただいた高橋さんは「野口英世細菌検査室保存会」の幹事を務められていると共にひかりが丘町内会の副会長でもあります。保存会には、北は福島県から南は愛媛県まで90名以上の会員がおられ活動されています。その保存会の豊富な資料をもとに、野口英世の色々なエピソードを聞かせていただきました。

ひかりが丘町内会高年部

野口英世と横浜金沢、そして私

講師：野口英世細菌検査室保存会 幹事
高橋 好一

日時：2015年5月23日(土)
13:30~15:00

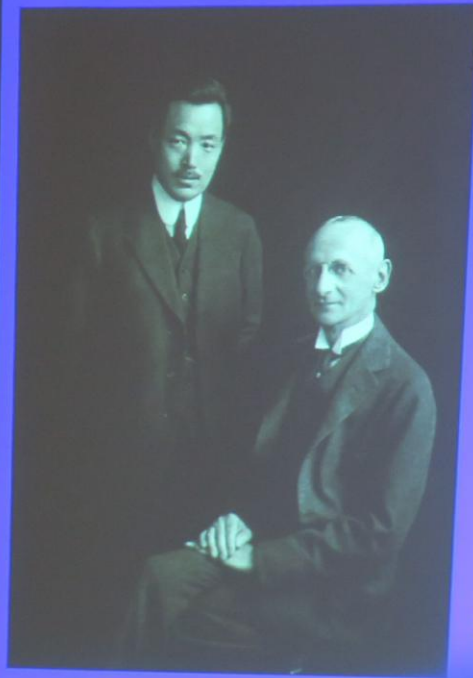
場所：ひかりが丘町内会館



野口英世の母親からの手紙の写真と高橋さん

講演中の高橋さん

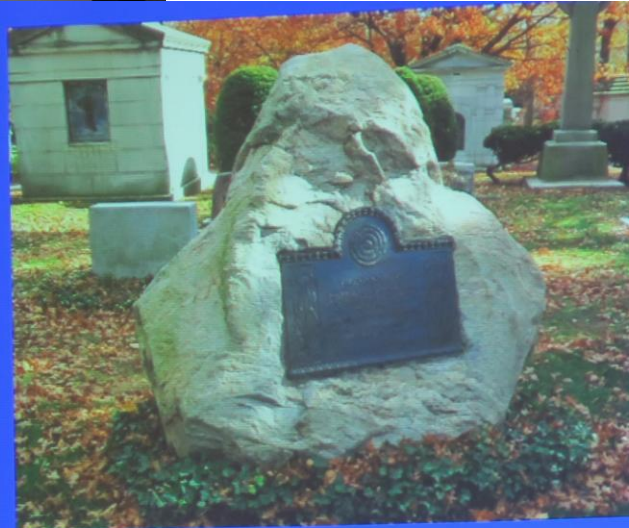
フレクスナー博士
と野口英世(1901)



フレクスナー博士
(1863.3.25~1946.5.2)は
新設されたロックフェラー研
究所の初代所長に着任
(1902.6)。野口英世はデン
マーク留学から帰任後、同
研究所に(1904.10、27才)。
渡米後、逝去に至るまで野
口は忠実な弟子・部下であ
った。13才年長

スライド

野口英世の墓碑
(NYウッドローン墓地)



黄熱病で熱にうかされて最後の言葉: 私にはまったくわからない。
(I am quite---I don't understand.)

墓碑: 一身を科学に捧げ、人間愛に生き、人間愛に殉じた。
(Through devotion to science,
He lived and died for humanity.)

スライド

町内会の皆様へ

ひかりが丘町内会 会 長 岩田光生
高年部 部 長 井上一成

講演会のお知らせ

～野口英世と横浜金沢、そして私～

新緑の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今年表題の講演会を開催致しますので、多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

“野口英世”は、ここ金沢区から世界へ飛び立ち、細菌学者への道を歩み、
14年後にはノーベル生理学医学賞候補に推薦される世界的学者になりました。
今、なぜ“野口英世”に注目するのか？ エボラ出血熱をはじめとする感染症の恐怖、
STAP細胞に例をみる論文ねつ造事件など、野口博士との関連を考えます。

日時：2015年5月23日(土) 13:30～15:00 休憩 10分

場所：ひかりが丘町内会館

講師：高橋好一先生(4区在住)

野口英世細菌検査室保存会 幹事

*講演内容：

- ①野口英世と私 ②野口英世の生涯 ③横浜の野口英世
④野口英世の研究 ⑤野口英世に影響を与えた人々 ⑥野口英世のその後

野口英世は22才(明治32年)の夏を金沢区長浜の検疫所で検疫医官補として過ごしました。
長浜に着任早々、検疫所の細菌検査室で、外国から横浜港に入港してきた客船内の病人(船員)
からペスト菌を発見し、ペストの横浜侵入・日本上陸を防ぎました。大発見、大ニュース！
これが、北里柴三郎博士などに認められ、彼の世界的な活躍のきっかけとなりました。

野口英世の研究室：細菌検査室が長浜に現存

長浜野口記念公園内(長浜ホール右奥)に、日本で唯一
残された博士ゆかりの研究施設として「細菌検査室」
が保存され、一般公開されている。明治28年、長浜
検疫所建物群の一つとして創建。



野口英世細菌検査室保存会

野口博士の業績を顕彰し、長浜に残された「細菌検査室」の保存と活用を図ることを目的に活動。会員数は約90名。北は福島県、南は愛媛県、金沢区民は22名